

ここが聞きたい!!



三角 良人 議員

スマートI・C周辺整備

先に県道整備を

問 昨年十月よりスマートインターチェンジが四分の三から四分の四の本格運用が始まりました。それに伴い、利用車輛が増え周辺道路・地域に影響が出てきました。これからどのような整備を計画されていますか。それに伴い、ポタ山を含めた赤坂地区の開発をどのようにされるのか。

答 中嶋町長 赤坂地区の開発・将来計画について、一番難しいのは個人の土地を将来計画・都市計画の中で押さえ込むということが非常に難しく、結論的に今の状態で赤坂地区をどのようにつなげるかという構想・

案というのは町として別段持つてはいません。ただ、ポタ山開発に含めて考えていきたいと思っております。今後フルインター化（全車種対応）していくことについては十分協議を踏まえていかなければならない、高速道路と連結しているのは町道しかなく、その町道を改良するには非常に多額の町単独の費用がかかります。志免、須恵線の枝線として県道の整備がなされれば、自然的に赤坂地区の付加価値が上がってくるということをお願いいたします。フルインター化という声が先にながっています。が、フルインター化に向けては先に道路が必要なんだということで、道路整備の方を先に行なっていたらというよう、代議士等の御理解はいただいています。



須恵スマートインターチェンジ上り出入口（赤坂地区）



今村 桂子 議員

問 共働き世帯の急激な増加、食育基本法の公布等大きく教育環境が変化しており、自家製弁当・弁当給食・パン食の3種類から選べる「弁当給食制」の実施が当町中学校には最適であるとの建議を受け、十二月議会町長報告では「行財政改革で平成二十二年三月の最終年限の合併問題等に取り組み中、給食問題のみ突出するわけにはいけないため慎重に審議する」と発言されました。中学校弁当給食は実現するのか。開始予定時期は。思春期を迎え情緒的な問題を抱えやすいこの時



昼食の様子（須恵中学校）

期の食事には細心の注意を払う必要があります。身体的・精神的に生徒の成長を支援する弁当給食の早期な実現を。

答 中嶋町長 須恵中学校・須恵東中学校二校あり、これを同時にスタートさせるためにはハード部分で約五千

万円、その後のランニングコスト、弁当給食費だけでは当然おきなえませんので、それに伴う差額を町が払うということになりますので年々支出が増えていきます。今、合併問題が浮上しており、二十二年三月という最終年限が粕屋中南部六町の首長会で決まっておりますので、それを視野に入れながらやっていかないと、設備投資等ムダになるという問題も起こってきます。現時点で弁当給食を行なうということは結論はつけておりますけれども、出発時点については六町の合併の状況を見ながら行なっていく予定です。

中学校弁当給食の開始時期

合併の状況を見ながら